

科目名	美容衛生管理論 I		Subject	Sanitation administration Theory I				
サブタイトル	美容事業にかかわる衛生管理（公衆衛生、環境衛生、感染症）について							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回	なし							
教員名	森 優紀			メールアドレス	yuuki.mori@・・・			
教員の略歴	2013 年 東邦大学大学院 医学研究科看護学専攻 博士課程修了 博士(看護学)、看護師、保健師、行政書士、3 級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を保有 著書「看護学テキスト NiCE 成人看護学概論」2010 年、論文他							
実践的教育	○ 保健師・看護師：保健師としての経験を活かし、具体的な事例を盛り込んだ授業構成としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要																	
本科目は、美容師に必要な公衆衛生、環境衛生、感染症について学ぶ。安全・安心な美容を人に提供するためには、衛生管理の知識は重要である。例えば、感染症の知識を学ぶことで、美容を提供する際、施術を受けるもの、施術をするもの両方の安全を守ることにつながる。よって本科目では、基礎的な衛生知識を習得することを目的とする。さらに最終的には美容おける衛生管理上の課題に対して、適切な対策を取ることができることを目的とする。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		-		-		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP1		美容事業にかかわる衛生管理方法が述べられる。															
DP3		美容施術にかかわる環境衛生や感染予防の課題を解決するためにデータを活用することができる															
教科書・教材																	
教科書		衛生管理，日本理容美容教育センター，2026 年															
参考文献		染方史郎の楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学×抗菌薬，染方史郎，じほう 2022															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
50%		-		10%		-		-		-		-		40%		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
毎回課題の解説をします。																	
履修上の条件・注意																	
自分自身の出欠席数の把握は自己管理とする。classroom、メールをよく確認する。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 公衆衛生 1）公衆衛生に関わる歴史上の人物と公衆衛生の定義を学ぶ。	美容にかかわる公衆衛生の歴史上の人物が述べられる。	・授業の内容については予習と復習が求められる。 ・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 2 回	公衆衛生 2）公衆衛生に関わる理美容業、保健所との関連を学ぶ。	理美容事業と公衆衛生の関連が述べられる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 3 回	保健 1）母子保健・精神保健について学ぶ。	美容事業に必要な母子保健と精神保健事業が述べられる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 4 回	保健 2）成人保健について学ぶ。	美容事業に必要な成人保健事業が述べられる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 5 回	保健 3）高齢者保健と介護保険制度について学ぶ。	美容師に必要な高齢者保健と介護保険事業が述べられる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 6 回	環境衛生 1）環境衛生の概要を学ぶ。	美容事業に必要な環境衛生上の要点が述べられる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 7 回	環境衛生 2）空気環境と衣服・居住の衛生について学ぶ	空気環境、衣服・住居がどのように健康に関連しているか説明できる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 8 回	環境衛生 3）上水道・下水道と廃棄物、水質汚染について学ぶ	美容事業に必要な環境衛生上の要点を述べることができる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 9 回	環境衛生 4）衛生害虫とネズミについて学ぶ	美容事業において注意が必要な害虫とネズミについて要点を述べることができる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 10 回	感染症 1）人と感染症の歴史、感染症法上の分類について学ぶ。	感染症法上の分類を述べることができる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 11 回	感染症 2）感染経路、病原体の種類・構造について学ぶ。	主な感染経路とそれによる疾病、病原体の基礎的な種類と構造について説明できる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 12 回	感染症 2）病原微生物について学ぶ	細菌とウイルスの違いと特徴が述べられる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 13 回	感染症 3）感染症の予防について学ぶ。	感染症発生の 3 大要因と予防のポイントを述べることができる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 14 回	感染症 3）空気・飛沫を介して感染する感染症について学ぶ。	空気・飛沫を介して感染する主な感染症の特徴と具体的な感染予防方法を述べることができる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習は、毎回の課題テキストと合わせて 30 分復習し、次回再度確認するため、理解する。	60 分
第 15 回	感染症 4）飲食物、血液を介して感染する感染症について学ぶ。	飲食物・血液を介して感染する主な感染症の特徴と具体的な感染予防方法を述べることができる。	・予習は教科書の該当テキストを読み、内容を確認する。 ・復習：これまで学習したテストや課題の内容を復習する。	60 分